

# 『アジア経済』 総目次 2020 年

—第 61 卷第 1 号～第 4 号—

\* 論文等は執筆者の五十音順。書評・紹介は、邦書については編著者の五十音順、洋書については同じくアルファベット順。特別連載は回数順。

	号	頁		号	頁
(論文・研究ノート)					
岩崎えり奈：チュニジア南部タタウィーン地域における女性の出生行動の変化——2 事例村の調査結果——	1	35	足達太郎・小塩海平・藤原辰史著『農学と戦争——知られざる満洲報国農場——』(評者：野本京子)	2	96
熊谷 聡・黒岩郁雄：東アジアにおける輸出構造の高度化——中所得国の罨へのインプリケーション——	2	2	石川幸一・馬田啓一・清水一史編著『アジアの経済統合と保護主義——変わる通商秩序の構図——』(評者：梅崎創)	3	127
邢 雪歌：中国年金改革のあり方——統一的な基礎年金に関する一提案——	4	2	石塚迅著『現代中国と立憲主義』(評者：御手洗大輔)	3	109
樋口秀実：毛里英於菟の「東亜協同体」論からみた東アジアの地域秩序構想	1	2	磯部靖著『中国：統治のジレンマ——中央・地方関係の変容と未完の再集権——』(評者：任 哲)	4	64
宮川慎司：強まる反インフォーマリティの規範——マニラ首都圏スラムの「盗電」を事例に——	3	28	猪俣哲史著『グローバル・バリューチェーン——新・南北問題へのまなざし——』(評者：伊藤恵子)	2	94
山尾 大・浜中新吾：ポスト紛争社会の政治動員と投票率の関係——イラクにおけるサーベイ実験から——	3	2	内山雅生編著『中国農村社会の歴史的展開——社会変動と新たな凝集力——』(評者：佐藤仁史)	1	103
(資 料)					
竹村和朗：ワクフに関するエジプト最高憲法裁判所 2008 年違憲判決の解題および全訳	4	32	小川道大著『帝国後のインド——近世的発展のなかの植民地化——』(評者：川村朋貴)	1	85
(特別連載)					
インタビューで知る研究最前線 (倉田徹)	2	36	小山田英治著『開発と汚職——開発途上国の汚職・腐敗との闘いにおける新たな挑戦——』(評者：鈴木拓)	2	66
インタビューで知る研究最前線 第 2 回 (宇山智彦・樋渡雅人・熊倉潤・地田徹朗)	3	61	加治佐敬著『経済発展における共同体・国家・市場——アジア農村の近代化にみる役割の変化——』(評者：大塚啓二郎)	2	59
(書評・紹介)					
赤羽淳・土屋勉男・井上隆一郎著『アジアローカル企業のイノベーション能力』(評者：藤田麻衣)	4	56	金富子・金榮著『植民地遊廓——日本の軍隊と朝鮮半島——』(評者：小野沢あかね)	1	72
安里和晃編『国際移動と親密圏——ケア・結婚・セックス——』(評者：稲葉奈々子)	4	52	栗田真広著『核のリスクと地域紛争——インド・パキスタン紛争の危機と安定——』(評者：濱村仁)	2	62
			櫻間瑛著『現代ロシアにおける民族の再生——ポスト・ソ連社会としてのタタルスタン共和国における「クリャシェン」のエスニシティと宗教＝文化活動——』(評者：伊賀上菜穂)	2	70

佐藤仁著『反転する環境国家——「持続可能性」の罫をこえて——』(評者:金沢謙太郎)	3	97	山田七絵著『現代中国の農村発展と資源管理——村による集団所有と経営——』(評者:加治佐敬)	3	105
志賀美和子著『近代インドのエリートと民衆——民族主義・共産主義・非バラモン主義の競合——』(評者:井上貴子)	1	80	隋藝著『中国東北における共産党と基層民衆 1945-1951』(評者:鄭浩瀾)	3	101
篠田隆著『インドにおける経営者集団の形成と系譜——グジャラート州の宗教・コーストと経営者——』(評者:絵所秀紀)	1	76	李盛煥・木村健二・宮本正明編著『近代朝鮮の境界を越えた人びと』(評者:李東勳)	2	97
竹田敏之著『現代アラビア語の発展とアラブ文化の新時代——湾岸諸国・エジプトからモーリタニアまで——』(評者:渡邊祥子)	3	114	林采成著『鉄道員と身体——帝国の労働衛生——』(評者:三木理史)	1	68
飛内悠子著『未来に帰る——内戦後の「スーダン」を生きるクク人の移住と故郷——』(評者:久保忠行)	2	78	David Altman, <i>Citizenship and Contemporary Direct Democracy</i> (評者:宮地隆廣)	2	90
トラン・ヴァン・トウ・菊込俊二著『中所得国の罫と中国・ASEAN』(評者:熊谷聡)	4	61	Garry Rodan, <i>Participation without Democracy: Containing Conflict in Southeast Asia</i> (評者:外山文子)	1	89
中村平著『植民暴力の記憶と日本人——台湾高地先住民と脱植民の運動——』(評者:北村嘉恵)	2	86	Hideaki Kami, <i>Diplomacy Meets Migration: US Relations with Cuba during the Cold War</i> (評者:山岡加奈子)	1	94
速水洋子編『東南アジアにおけるケアの潜在力——生のつながりの実践——』(評者:浮ヶ谷幸代)	2	95	Marc Owen Jones, Ross Porter and Marc Valeri eds., <i>Gulfization of the Arab</i> (評者:近藤重人)	1	99
平田知久著『ネットカフェの社会学——日本の個別性をアジアから開く——』(評者:松下慶太)	2	82	Nanjala Nyabola, <i>Digital Democracy, Analogue Politics: How the Internet Era is Transforming Politics in Kenya</i> (評者:白戸圭一)	3	123
宮脇聡史著『フィリピン・カトリック教会の政治関与——国民を監督する「公共宗教」——』(評者:木場紗綾)	4	68	Sophia Kalantzakos, <i>The EU, US and China Tackling Climate Change: Policies and Alliances for the Anthropocene</i> (評者:鄭方婷)	3	119
矢澤達宏著『ブラジル黒人運動とアフリカ——ブラック・ディアスポラが父祖の地に向けてきたまなざし——』(評者:北森絵里)	4	73			
山口元樹著『インドネシアのイスラーム改革主義運動——アラブ人コミュニティの教育活動と社会統合——』(評者:野中葉)	2	74	〈その他〉		
			2019年寄贈図書リスト	1	104
			『アジア経済』総目次2020年——第61巻第1号～第4号——	4	77
			第41回発展途上国研究奨励賞の表彰について	3	129